

バンクテック・ジャパン中間株主通信 2009

2009.1.1—6.30

$$\frac{1}{3}$$


三分の一って？

ケータイの申込み処理を、 もっと早くしたい!



携帯電話の新規申込みは、申込書の入力や本人確認、審査など、複雑な作業と手続きがあり、以前は購入してから使用できるまでに1時間以上かかることもありました。だから、あまりの待ち時間の長さにも購入を控えられてしまうこともしばしば。携帯電話会社は、顧客獲得のチャンスを失っていました。

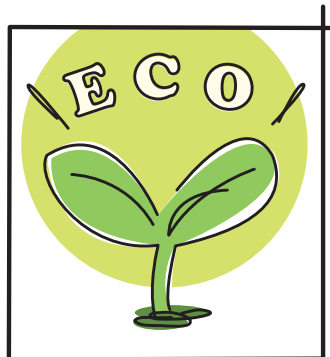
2

ほかにも、 さまざまな課題がありました…

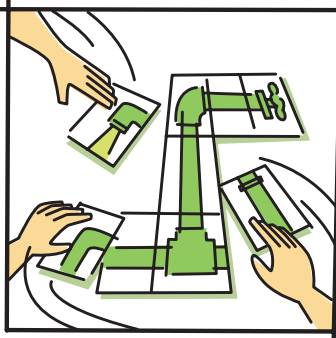
待ち時間以外にも、携帯電話会社は申込みの手続き業務で課題を抱えていました。



人件費や維持費も
コストダウンしたい。



エコにも貢献する
システムが望ましい。



業務プロセスの
変更にも柔軟に
対応してもらいたい。



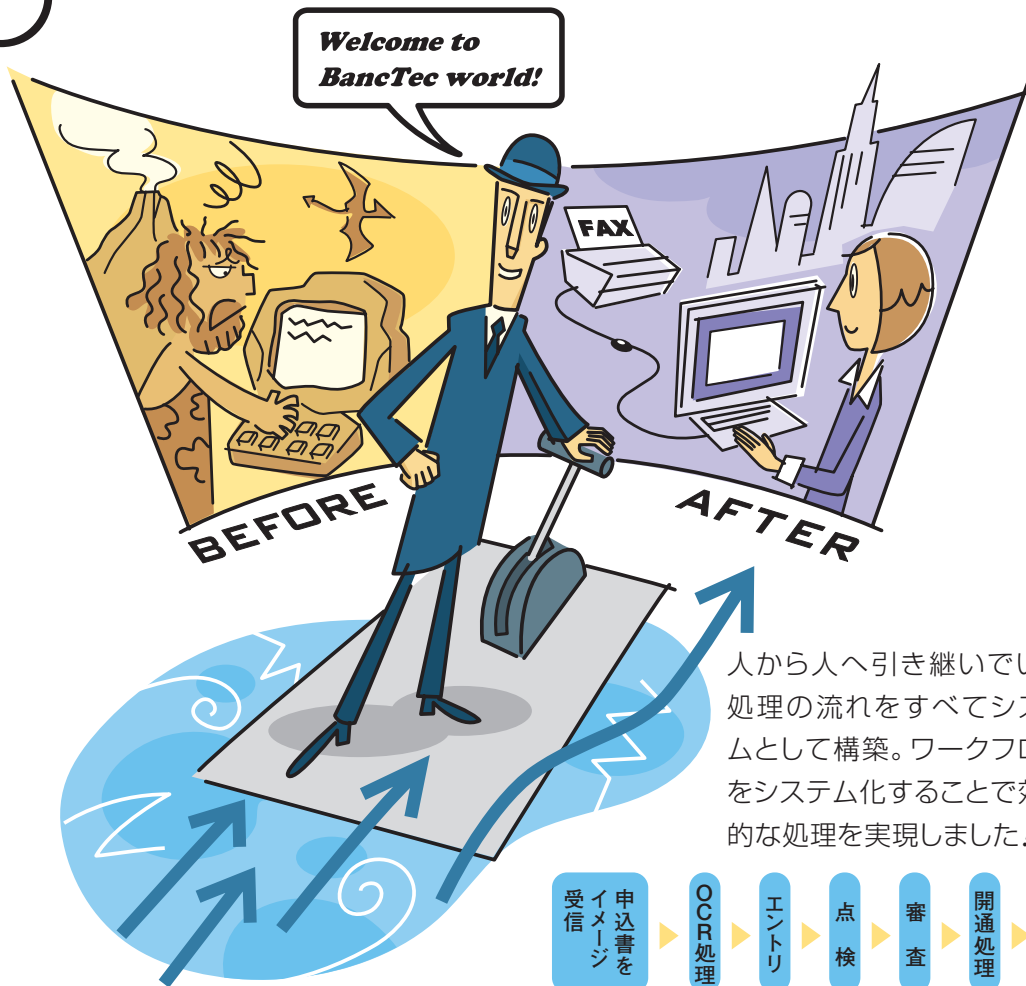
個人情報を
扱うから万全の
セキュリティが必要。



そこでバンクテックがガラッとSolution!

3

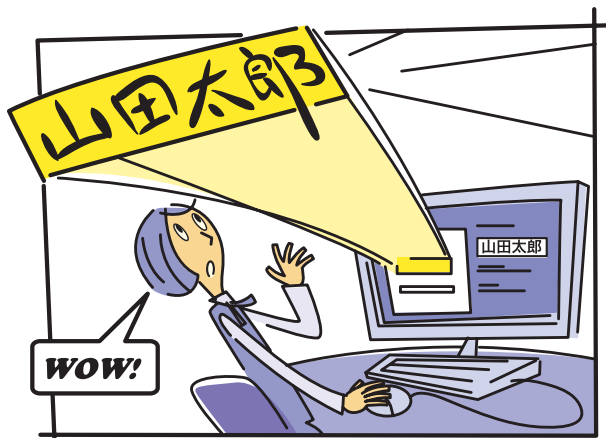
業務プロセスそのものを変えました!



4

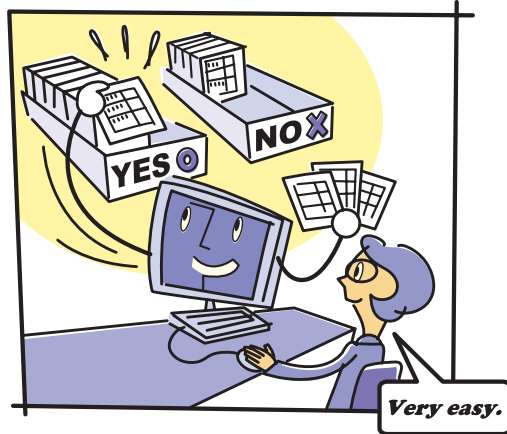
独自のアイデアと技術で

使い勝手も大きく向上!



申込書のイメージを任意に部分拡大して内容をチェック。
確認作業も大幅に簡単になりました!

審査時に不備があれば、リストにある
該当項目名をクリックするだけで処理が完了。



1
3

自動文字入力からエントリ、
点検、審査までをひとつのシステム上で管理。
人に依存していた従来の方法と比べ、
入力&チェックを飛躍的に効率化できたため、
申込みから手続き完了までの時間を1/3以下に短縮できました。

5

さらに、 セキュリティと内部統制の強化!



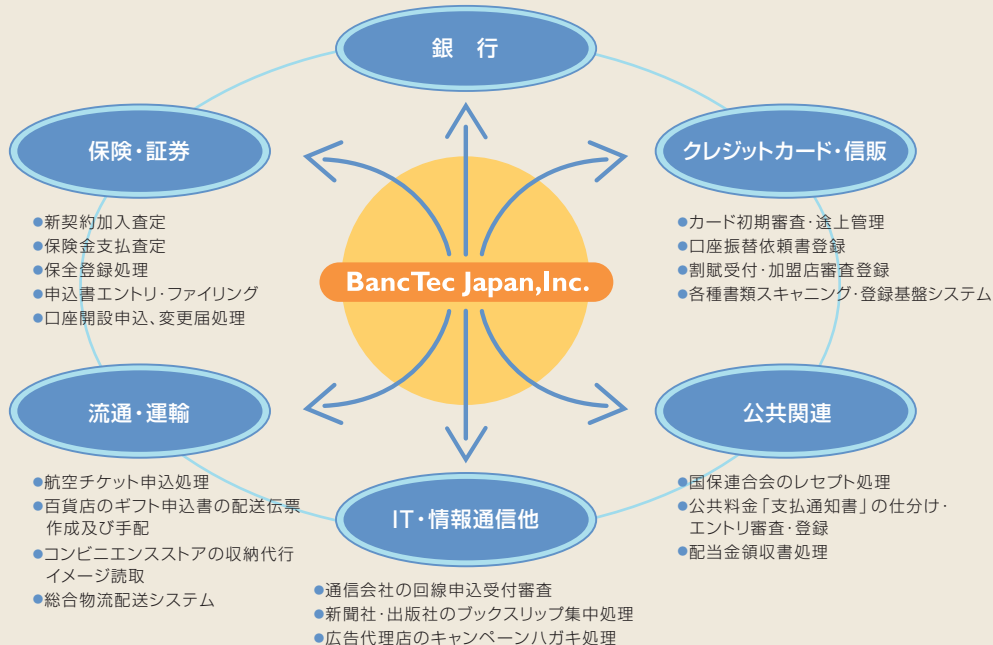
オペレーターが行ったすべての処理履歴がサーバに記録されるので、データの流出や改ざんに対するセキュリティ性が高く、内部統制も強化。しかも、すべての作業が完全ペーパーレスなので、エコにもしっかり貢献しています。

当社のイメージ情報ソリューションは 幅広い業界で業務プロセスの効率化を実現しています。

イメージ情報を活用したソリューションの提供に特化してきた当社の強みは、データの入力、画像化、データベース、検索という、イメージ情報処理に必要な4つの分野を網羅していることです。顧客のニーズに合わせた業務アプリケーション・ソフトを開発し、システムとして提供できるので、すべての業界に向けたサービス提供を可能にしています。

主な業界別ソリューション

- 口座振替登録
- 融資審査業務、書類保管
- 住宅ローン審査
- 税金「払込通知書」の仕分け・エントリ



コスト削減とエコ対策という世界的なトレンド 厳しい経済情勢の中、計画を達成しました。

Q 当上半期の業績に対する評価は？

A 当初の業績予想を計画通りに達成しました。

当上半期は、保険業界への納入が堅調であったことに加え、アウトソーシング事業の売上増とアプリケーション開発の収益性が大きく改善し、当初の計画をほぼ達成することができました。もともとの計画自体、現在の厳しい経営環境を想定できない段階に策定したものであることを踏まえると、十分に評価できる結果だと思えます。中



代表取締役社長 三井所 清宏

でも、増収に貢献したのはアウトソーシング事業で、前年同期比17.6%増を達成しました。これはコスト削減や、セキュリティ強化を安価に導入したいという顧客ニーズに応えられた結果だと思えます。また、新規顧客獲得のため、システム開発コストを抑制できるフレームワーク*の構築を実現したことも、上半期の成果といえます。

*アプリケーション開発の際に必要な汎用機能を集約して提供するソフトウェアの土台。汎用的な機能を共通化できるため、開発効率を向上できる。

Q 下半期で注力していくポイントは？

A 官公庁関連の短納期案件への対応を強化します。

今年度は、情報の電子化ニーズが依然として高い官公庁への展開を特に強化しています。すでにいくつかの案件は受注を控えており、下半期の売上にも貢献すると予測しています。特に今年度予算で消化する短納期案件も少なからず見受けられることから、それらの受注獲得を目指していきます。また、来年度以降の収益を確保していくためにも、中長期的な視野に立った営業活動を推進していきます。

をキャッチ。

Q 通期における業績の見通しは？

A 文書の電子化のトレンドは堅調。
通期も計画をクリアできると考えています。

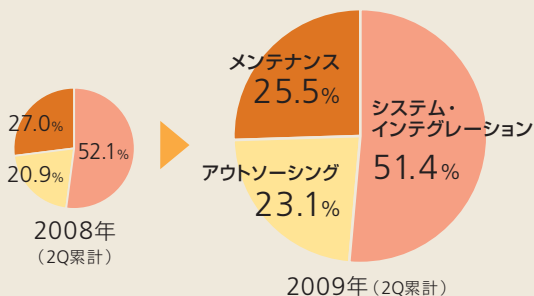
下半期も厳しい経済情勢が続くと考えられますが、足元の受注状況と業績から、当初の計画通りの業績を見込んでいます。受注獲得の競争激化に伴って納入価格が押し下げられるため、売上総利益率の多少の落ち込みは避けられないものの、売上の増加とそれにかかるコストを抑えることで

利益を確保し、計画を達成していきます。

当社は、トータルに電子化を実現できるイメージ情報ソリューションを提供しており、全産業をカバーできる点が大きな強みです。情報の電子化はコスト削減とエコ対策に有効な切り札であり、時代の大きな流れでもあります。IT投資が伸び悩む中、今後も電子化の波は拡大していくと確信しています。

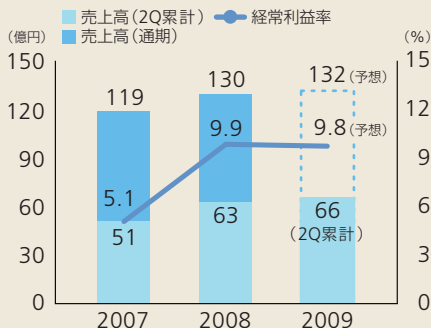
2009年6月

● セグメント別売上高



売上高 前年同期比 **6.2%up**

● 業績ハイライト



会社情報

社名 バンクテック・ジャパン株式会社
設立 1968年7月
資本金 7億2,187万5,000円
従業員数 426名(2009年6月末現在)

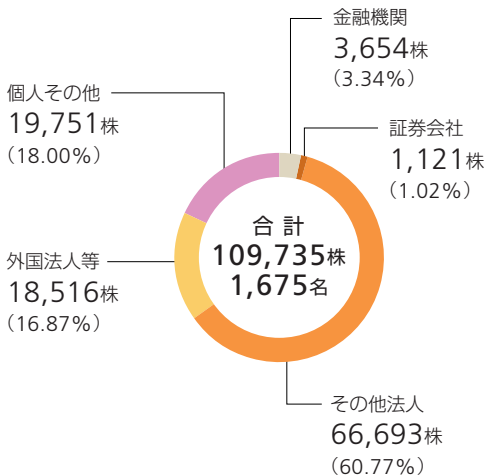
株式情報

上場市場 JASDAQ
証券コード 3818
事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月開催
基準日
期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日

役員

代表取締役社長	三井所清宏	執行役員	野口 悟
取締役	高山保夫	執行役員	稲垣秀秋
取締役	鍋木清忠	執行役員	岩本峰尊
取締役	永井進	執行役員	三浦裕政
取締役	財津雅成	常勤監査役	望月克己
取締役	野田武彦	監査役	中村 渡
執行役員	松本義雄	監査役	早川篤志
執行役員	谷下哲二	監査役	安嶋 弘

所有者別株式構成比



IRサイトのご案内

www.banctec.co.jp/ir/index.html

バンクテック・ジャパン株式会社

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館12F
TEL: 044-578-5111 (代表) E-mail: ir@banctec.co.jp